

今後の行政事業レビューの改善について（主な講評）（案）

公開プロセス関連

- 公開プロセスは先送りとなったが、Web 会議によるヒアリングやメールによる質疑応答の機会が確保されており、公開に準ずる制度設計となるよう事務局に工夫してもらえたことで、国民への説明責任を果たしたいという意見・要望が反映されてよかった。

外部有識者点検関連

- ヒアリングの際に、一部の事業において、レビューシートに書いてあること以外を尋ねても上手く返答できない事業担当者がいたため、当該事業を熟知した者に対応してもらいたい。
- 一者応札・一者応募となった事業においては、要因分析とその結果が示されていないものや、質の担保をどのように行ったか等について詳細に記載されていないものがあった。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大していたタイミングでは、今回の実施方法が妥当であったと思われます。
- ヒアリングの際に、Web 環境の問題であるが、自分の音声を事務局に送ることが出来ず、別途携帯と併用して対応することになった。

翌年度に向けた改善事項

- 個別の事業に対して毎年度指摘しているが、レビューシートの記載にあたり、改善が見られない。成果目標や一者応札等について、事業所管部局による点検・改善欄に、もう少し詳細かつ丁寧に説明を記載して頂けないか。併せて、未記載の部分がないようお願いしたい。

- 「アウトカム」、「アウトプット」について、事業内容との関係がよく整理されていないものや、設定に問題があると感じるものが散見された。「アウトカム」や「アウトプット」の設定にあたっては、事業実施により具体的に変化が生じると期待されるところを捉えて反映させることを試みて欲しい。
- レビューシートで追える内容には限界があるように感じた。規定のレビューシートの様式では、説明が困難な場合には、補足資料を用意して欲しい。
- 前年度から新規に開始し、全額を次年度へ繰り越しているような事業については、翌年度に審査すべきと思われます。
- 来年度は、可能であれば公開によるレビューが望ましいと考えるが、実施が困難な場合は、今後も今年度の実施方法を踏襲しつつ、Web 会議によるヒアリングを充実させていく必要がある。また、対面又は Web 会議とするか選択可能とすることなど、開催時期も含め、より効率的・効果的な方法を引き続き検討していくことが重要だと思われます。

その他

- 公開プロセスが実施できない中で、点検が充実するものとなるよう、事務局は適切に対応していた。